

No.	010	—	1001	事務事業名	健康増進健康教室等事業	細事務事業名	健康手帳交付事業・健康相談事業他	公的関与	1				
P L A N	課名	健康推進課	係名	成人保健係	電話番号	089-966-2191	メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	(4)成人・老人保健の充実				
	事業の対象	東温市に住む老・成人				根拠法令	健康増進法及び高確法（H19までは老人保健法）						
	事業の目的	最終的	『自分の健康は自分で守る』ことを基本に、健康教育事業などを通して市民が健康づくりのための正しい知識と技術を習得し、日常生活の中で実践することにより生活習慣の改善を図り、疾病の発症と重症化の予防を目指します。				今年度	筋肉量の減少による日常生活機能の低下を防ぎ、転倒の危険性を増加させないことを目的として、主に中・高年期を対象に自宅でできる筋力アップのための運動メニューを作成します。					
	活動内容	①	概ね40歳以上の者に健康手帳を交付し、健康診査や健康相談、健康教室等の内容を自ら手帳に記録して、健康管理に役立てるよう支援します。				④	地域に出向く出前講座により、地区住民からの要望に応じた健康教室、健康相談を実施し、近隣住民がこぞって気軽に参加できる健康づくりの実践に向けて支援します。					
		②	個別面談や電話による健康相談を実施し、健康診査の結果に基づき一人ひとりの健康課題から生活習慣を改善することにより、健康を保持できるよう支援します。				⑤	健康診査の結果から受診や精密検査が必要と判断された方の自宅を訪問し、本人及び家族に対して、受診や精密検査の実施につながるよう支援します。					
		③	運動教室、糖尿病予防教室、健康講座など健康教室を開催し、健康づくりに関する正しい知識の普及と実践できる技術の習得を支援します。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標		
		健康手帳の交付数		健康手帳の発行数			冊	目標 200	200	200	250		
健康教室・健康相談の参加人数		健康教室・健康相談の参加延べ人数			人	目標 7,000	7,000	7,000	7,500				
訪問による保健指導の実施人数		訪問指導の延べ人数			人	目標 600	600	600	650				
						実績 121	203						
						実績 6,168	6,739						
D O O	予算費目	会計	一般会計			費目名	衛生			費			
	直接事業費			平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考						
		国・県支出金		646 千円	684 千円	721 千円							
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円							
		その他特定財源		4,284 千円	5,698 千円	6,115 千円							
		一般財源		926 千円	0 千円	524 千円							
		計(A)		5,856 千円	6,382 千円	7,360 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費		1.698 人 10,210 千円	1.594 人 9,599 千円	1.600 人 9,542 千円							
		臨時職員工数・経費		2.335 人 4,537 千円	2.565 人 4,932 千円	2.500 人 4,818 千円							
	全体事業費(A+B)		20,603 千円		20,914 千円	21,720 千円							
一次評価者	成人保健係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	市民自ら取り組む健康づくりのためのメニューを市民とともに考え、市から情報提供していく事により、健康意識の高揚につながるものと考えます。												
有効性	平成28年度に作成する東温市オリジナル体操を中心とした地域で実践する健康づくりのための事業を展開していくことで、市民自ら健康づくりに取り組んでいけるような体制の整備に繋がるものと期待しています。												
達成度	健康教室や健康講座への参加者数や訪問による保健指導などの実績から、概ね達成できていると判断します。												
効率性	市民一人ひとりの心身の状況や健康に対する考え方などの違いに、丁寧に対応し支援することを継続していくことが、ひいては地域全体の健康意識の向上につながるものと考えます。												
当面の課題	高齢者においては、筋肉量の減少と筋力低下により身体機能や生活の質が低下したり、転倒により要介護状態となる事が心配されています。また、筋力の低下は生活習慣病や認知症の発症とも関係があるといわれています。壮年期の時期から地域で身体を動かす事を習慣とし、筋力の低下を予防していくことが大切です。												
改革計画	平成28年度に作成する東温市オリジナルの筋力アップ体操を広く市民に啓発し、地域に定着して持続できる体操として支援体制、実施体制を整えて参ります。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	市民の健康増進を図るうえで、特に生活習慣病等の一次予防対策や重症化予防対策が重要であり、そのためには継続的な保健指導や健康教育は不可欠です。相談や訪問活動、講座や各種教室で事業参加者数は、概ね目標数値に達成しており、市民の健康づくり意識の高まりが窺えます。生活習慣病予防のための若年層へのアプローチや、高齢者のサルコペニア対策にも取り組み始めており、今後の成果が期待されます。成果はすぐに現れるものでもありませんが、継続的取り組みが必要です。												

No.	010	—	1002	事務事業名	各種健康診査事業	細事務事業名	がん検診、健康診査等事業、集団検診受託等事務事業	公的関与	1				
PLAN	課名	健康推進課	係名	成人保健係	電話番号	089-966-2191	メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度				
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	(4)成人・老人保健の充実				
	事業の対象	20歳以上の東温市民				根拠法令	健康増進法及び高確法 (H19までは老人保健法)						
	事業の目的	最終的	疾病の早期発見、早期治療につなげるとともに、生活習慣の発症や重症化を予防します。また、住民自身が生涯にわたり健康づくりに取り組むことが出来ます。			今年度	市民課の特定健診担当者と協力して受診しやすい環境が整えられるとともに、リーフレット等による受診勧奨がなされ、受診率が向上します。						
	活動内容	①	健康診査事業:30歳代健診、生活保護受給者健診、後期高齢者健診(受託)、骨粗鬆症検診、歯周疾患検診			④							
		②	がん検診等事業:肺(CR、CT、喀痰)・胃・大腸・子宮頸・乳・前立腺がん検診、肝炎ウイルス検査			⑤							
		③	新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業(無料クーポン事業):子宮頸・乳がん検診										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標			
		健康診査受診者数(30歳代、特定、生保、後期、被扶養者健診)		受診者数		人	目標 3,500	3,500	3,500	5,000			
がん検診受診率		受診者数/対象者数		%	目標 肺30、胃25、大腸40 子宮40、乳40、前立腺25	肺30、胃25、大腸40 子宮40、乳40、前立腺25	肺30、胃25、大腸40 子宮40、乳40、前立腺25	50					
がん検診の精密検査受診率		精密検査受診者数/要請密検査者数		%	目標 100	100	100	100					
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生			費				
	直接事業費	平成 26 年度決算		平成 27 年度決算		平成 28 年度予算		備考					
		国・県支出金	3,492 千円		1,417 千円		1,158 千円						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	18,930 千円		19,460 千円		20,640 千円						
		一般財源	42,603 千円		43,542 千円		48,191 千円						
	計(A)	65,025 千円		64,419 千円		69,989 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.731 人	10,409 千円	1.430 人	8,611 千円	2.000 人	11,928 千円					
		臨時職員工数・経費	0.981 人	1,906 千円	0.633 人	1,217 千円	1.000 人	1,927 千円					
	全体事業費(A+B)	77,340 千円		74,248 千円		83,844 千円							
一次評価者	成人保健係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	健康増進法、後期高齢者医療の確保法において、市で実施することが定められています。												
有効性	健康増進法、後期高齢者医療の確保法に基づき実施することで、疾病の早期発見及び生活習慣病の発症・重症化の予防につながります。												
達成度	受診者数、受診率ともに目標には到達していませんが、増加が見られます。												
効率性	市民課との連携、自治組織やボランティアの協力を得ることで低コストにつながっています。今後は、事業所等との連携も視野に入れて取り組む必要があると考えます。												
当面の課題	各種健診の受診率は、県下では高い率を維持していますが、目標には到達していません。目標達成に向けて、更なる受診勧奨と受診しやすい健診体制が望まれます。												
改 革 画	受診しやすい環境を整えるとともに受診の必要性を周知します。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	各種健診の受診率は、県下では高い率を維持しておりますが、前年との比較ではほぼ横ばい状況が続いており、目標には到達していません。一方、精密検査においては、受診率は高水準で推移しており、受診勧奨の取り組みの成果が見受けられます。周辺市町の状況も参考にしながら年々健診体制の改善に取り組んでおり、市民が受診しやすい環境が少しずつ整備されていると感じています。引続き、こうした努力を続ける必要があります。												